

gifunet

東京岐阜県人会・会報誌ギフネット

それぞれの彩り。

私たちは自由になった。
さあ、自分の目で、耳で、
足を使って感じよう。
世界はもっとカラフルになる。

2024
SPRING & SUMMER
vol.80

郡上市・西ヶ瀬さくら公園の芝桜
photo by:Gouma Midorikaze

OKB コミュニティプラザ 東京

OKB東京支店では会議・研修・セミナーのほか
ワーキングスペースとしても利用できるOKBコミュニティプラザ東京を
併設しています！ ぜひ、お気軽にご利用ください



利用方法など

- 1名専用ブースや最大24名で利用できるミーティングルームなど、4タイプからお選びいただけます
- ご利用にあたっては所定の料金が必要です
- お申し込みはOKBに口座をお持ちの方に限ります
- お申し込みやご利用方法などについてはOKB大垣共立銀行 東京支店までお問い合わせください

詳しくはこちら



東京駅
八重洲口より
徒歩10分



▲東京支店外観

OKB 大垣共立銀行

東京支店 TEL 03-5159-7000

東京都中央区京橋一丁目12番5号(京橋YSビル2階)

令和6年度 夏の講演会

「6月、7月の土曜開催を目途に企画検討中」

※決まり次第、お知らせいたします。

令和6年度 総会・懇親会のお知らせ

日時：令和6年11月25日(月) 【総会】18時～18時20分 【懇親会】18時30分～20時

会場：明治記念館 東京都港区元赤坂2-2-23 TEL：03-3403-1171

参加費：会員、非会員問わず、お一人様10,000円、ただし学生は無料

※開催通知は、改めてご案内いたします。

Index

ごあいさつ	3	閑話休題「老化のメカニズムの解明」	12
令和5年度 総会・懇親会	4	岐阜県学生会館「田舎が嫌いだった私」	13
マスコットキャラクター「いのりちゃん」／ TOPIC	7	活動報告	14
岐阜県内のおすすめキャンプ場	8	美術展覧会記録2023	16
岐阜の案内人が語る、第二弾「ぎふ長良川鵜飼」	10	今年は岐阜が熱い！／ 同窓会に行こう!!	17

『清流の国ぎふ』づくり ～確かな未来の創造～



岐阜県知事

古田 肇

東京岐阜県人会の皆様には、日頃より岐阜県政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族に対してお悔やみを申し上げます。また、被害に遭われた方々には心からお見舞い申し上げます。

本県では、地震発生翌日から県、市町村、関係機関が連携し、「オール岐阜」で人的・物的の両面から支援しています。

さて、令和6年度は、我が国や本県が直面している課題や困難を乗り越えていくという思いを込め、「清流の国ぎふ」づくり～確かな未来の創造～を主題として、3つの柱により県政を推進していきます。

一つ目の「持続可能な『清流の国ぎふ』を目指して」では、「県民の生命と生活を守る」ことを最大の任務として、一般の能登半島地震を踏まえた各種計画の見直しや、災害に強いインフラの構築などにより災害対応力を強化していきます。

「人への投資」として、県内企業に就職する若者への奨学金返還支援制度を創設するほか、「産業への未来投資」として、スタートアップへの支援、「GX・DXの推進」として、本県独自の森林吸収クレジット制度「Gリーディング」の本格運用などに取り組みます。

次に「暮らしやすい『清流の国ぎふ』の実現」では、暮らしの安全安心を確保するため、新たな感染症への備えや、不登校・ケアラー対策を進めていきます。少子化対策としては、子育て世帯への支援拡充や、新婚世帯に対する転居費用への支援など、人口の自然減・社会減対策を進めていきます。

最後に「清流の国ぎふ」の魅力向上と発信について、令和6年は、本県で「清流の国ぎふ」文化祭2024、「清流の国ぎふ総文2024」が開催される「文化イヤー」です。これらを契機に、地芝居・伝統芸能、県産品や食文化と

いった「清流文化」を創造・発信していきます。また、ポーランドやフランス、中国、ハンガリー、リトアニアとの交流を深化させるほか、付加価値の高い体験コンテンツの充実などによりインバウンドや国内誘客を推進していきます。

東京岐阜県人会の皆様におかれましても、「清流の国ぎふ」の魅力発信にご協力いただけますと幸いです。

最後に、東京岐阜県人会の益々のご発展と、皆様の一層のご活躍、ご健勝を心より祈念いたします。

今、少子化対策に何が必要か



東京岐阜県人会会長

吉村 泰典

2030年までがラストチャンスと、政府は昨年新たな少子化対策であることも未来戦略を閣議決定し、年間3.6兆円を投入します。プランが始まる今年、合計特殊出生率が人口置換水準を下回り始めた1974年から50年が経過しています。政府の最初の少子化対策であるエンゼルプランができてから30年の年でもあります。

半世紀も続く少子化の流れを6、7年で変え、30年分の対策不足を3年で取り戻すのは容易ではありません。対策を実効性のあるものにするには、給付先行で始まることから財源の確保が必要となります。2028年度までに歳出改革と規定予算の活用、新たに医療保険ルートで集める支援金とで確保するとしています。歳出改革は、比較的ゆとりのある高齢者に医療や介護の負担を求めることになります。若い世代に社会保障のさらなる負担など先行きの不安が広がっては効果も期待できません。

少子化の背後にある構造問題に踏み込むことも大切です。プランには、児童手当の拡充や多子世帯への大学教育の無償化などの経済的支援と、子育てサービスの拡充が盛り込まれています。女性ばかりが育児を担うワンオペ育児を無くすために、男女がともに育児を取った場合の給付金を実質10割にすることや、短時間勤務への給付金を創設しています。長時間労働を前提にした日本の雇用慣行や男性は仕事、女性は家庭という根深い社会規範があります。新たな制度ができて、慣行や規範が変わらなければ男女がともに育児を担うハードルは高いままです。

今回の新たな少子化対策は、10年前に実施されていたれば一定の効果がみられたかもしれません。経済的な支援や制度の創設だけで若い世代が子どもを持ちたいと思える時代は過ぎてしまっており、子どもを持つことはリスクと考えています。旧態依然とした社会のあり方が少子化の要因になっていることを認識すべきです。現在の少子化は若い世代のレジスタンスと捉え、子育て世帯への支援だけでなく社会の意識を変えることです。選択的夫婦別姓や女性活躍が認められない国で、Z世代は子どもを育てたいと思うでしょうか。長時間労働や労働生産性の低さ、男性の家事育児参加、男女均等度など解決すべき課題はありますが、今最も必要なことは社会の意識のイノベーションです。

令和5年度 東京岐阜県人会 総会・懇親会が開催されました



令和五年十一月二十一日（火）午後六時から、昨年と同様、港区赤坂の明治記念館において令和五年度東京岐阜県人会総会及び懇親会が開催されました。

総会は同館二階「富士の間2」で開催され、冒頭、吉村会長から「昨年は新型コロナウイルスが落着き始めたこともあり、創立一二〇周年記念として着席の対面で開催できましたが、今年は新型コロナ禍の対応もこれまでのⅡ類相当からⅤ類感染症と緩和されたこともあり、コロナ感染に配慮しながらではありますが、

これまでの開催方法に戻し総会・懇親会を開催することができました。多数の会員の皆様にご参加いただきありがとうございます。旨のご挨拶があったのち、同会長が議長となり八木幹事長より次のような議案説明があり、慎重なる審議の結果、全議案が満場一致で原案通り承認可決されました。

第一号議案 令和四年度事業実績及び

令和五年度事業計画

第二号議案 令和四年度収支実績及び

令和五年度収支予算

第三号議案 役員の選出

今回、各方面でご活躍の三名の方々に新たに役員にご就任いただきました。今後の当県人会の運営や会員増強にご協力をいただきたくお願いいたします。

第四号議案 年会費改定

近時の諸物価高騰に対応すべく来年度総会・懇親会から一二年ぶりに参加費を八千円から一万円に改定することに伴い、役員・幹事の年会費を二千円増額させていただくことといたしました。

個別具体的には、

- ① 一般会員…二千円（据え置き）
- ② 理事…二万円→二万二千円

- ③ 評議員・監事・幹事…各一万円→各一万二千円
- ④ 法人会員…三万円（据え置き）となりま。

午後六時三十分から懇親会に移りました。吉村会長の開会の挨拶では、昨年日本の人口が約七十九万人減少したが、この数字は山梨県一県の人口に相当し、大変深刻な少子高齢化と多死時代となっていることを改めて痛感していること、その原因の一つとして若者が社会の歪みに明るい展望を持ちにくい社会になっていることが考えられると思う。当県会も残念ながら自然減が進行している。フェローシップ委員会中心に若い会員を増やす努力をしているが、この会場にお集まりの皆様にも是非ともご尽力を賜りたい、とのお話がありました。

続いて、古田知事からは、岐阜県内の最近のトピックスについて、ご報告がありました。



「岐阜県内には従来愛知県一宮市から富山県礪波市に抜ける『東海北陸自動車道』が通っており、東海地方と北陸地方の往来を活性化させていましたが、県内を東西に抜ける『中部縦貫自動車道』（長野県松本市（福井県福井市）の整備も順調に行われています。本年は富山県内の路線が順次共用開始となっており、総延長一六〇キロが全線開通すれば、北陸新幹線の敦賀までの延伸と相まって、一大観光地である飛騨高山地方に東西南北からのアクセスが非常に便利になります。リニアモーターカーが停まる中津川から下呂方面にも抜けることができることも楽しみです。」

「もちろん、観光だけでなく企業の進出による観光以外の産業振興にも大いに期待しており、実際、他県企業の岐阜県内での工場建設等が着実に進んでいます。」

「岐阜県は、単なる観光地ではなく、『サステナブルツーリズム』にも力を入れています。その成果として、『グリーン・ディステイネーションズ』（持続可能な観光地の国際的認証団体）の『世界のトップ百選』に『長良川流域』と『下呂温泉町』が選ばれています。その他、大河ドラ

マの影響で岐阜関ヶ原古戦場記念館への来場者は引き続き好調です。」
「一方、柳ヶ瀬から、四十六年続いた岐阜高島屋が来年七月、建物老朽化を理由に閉店することになり、全国に四つしかない『デパートのな い県』となってしまいました。南隣に三十五階建ての複合ビルが竣工したばかりなので残念です。今後都心の街づくりに注力していきたいと考えています。」

「期せずして、来年は、県内で二つの文化祭が開催されます。各種の文化活動を全国規模で発表・共演・交流する祭典『清流の国ぎふ』文



化祭2024」と、全国の高校生による芸術文化活動の祭典『清流の国ぎふ総文2024』です。開催に向けては、俳優の伊藤英明さんはじめ、四名の方を応援大使に委嘱したほか、県民総参加の取組みとして、県内全市町村において、象徴的な地域の宝物をモチーフにしたオブジェを住民共同で制作する『清流文化地域推し活動（ちーオシ）』に取り組んでいます。」

「八月には、ブラジル岐阜県人会創立八五周年・岐阜県人ブラジル移住一〇周年の記念式典に、副知事、県議会副議長等が出席しました。そ



こでは、遠く離れた地でこそ、ふるさとと想う気持ちの強さを実感したそうです。」

「本年一月に、新県庁舎が開庁を迎えました。県の災害対策の中核拠点として耐震性を十分確保し、ユニバーサルデザインや環境にも配慮しています。親しみやすく、利便性の高い庁舎として生まれかわり、今まで以上に質の高い行政サービスを目指しています。外壁には県産タイル、内装にはヒノキや和紙などの県産材がふんだんに使われており、まさに岐阜県を象徴する建物です。開庁直後から多くの一般見学者が来館され、県の職員の食堂利用もままならない状況です。二〇階の展望ロビー（清流ロビー）からの眺望は絶景で、岐阜の自然や街並みを三六〇度眺めることができます。ここでも床材は素焼きの美濃焼タイルが使われ、素材で自然な風合いが演出されています。展望ロビーは超人気で、議会からは、夜や土日も開放してはどうかと言われているますが、県庁はあくまでも『県庁は仕事の間である』と断っています（笑）。」

これらの知事のお話を聴きながら、首都圏に移り住んで久しい県人会会員の皆さんは、ふるさとの頑張りに



熱い思いを感じている様子でした。

来賓者のご紹介では、国会議員（代理出席を含む）の方々六名やはるばるとお越しいただいた県内市町村長（同じく代理出席を含む）の方々十四名を紹介させていただきました。

今回も会場には、特別に岐阜県産の食材を使った次の料理や地元のお酒を沢山提供していただき、例年に負けない郷土色豊かな宴となりました。

① 明方醤油ソーセージとシュークルート

② 飛騨コシヒカリで作った土鍋ご飯

③ マスのひるがのりんご焼

④ 郡上椎茸二味揚げ

⑤ 豚肩ロースとひるがの高原りんごのロースト

⑥ 飛騨美濃やまっことミートソースのペンネグラタン

歓談会食タイムには、話好きな岐阜県人の声が会場内に響き渡り、終始熱気にあふれた会となりました。また、ロビーには、県下各地の特産品や広告宣伝品が並べられ、県内産業・観光の現況を知ることができ、相変わらずの盛況ぶりでした。

午後八時三〇分には、杉野副会長・フェローシップ委員長の中締めあいさつとともに、余韻を残しながら約一五〇人の会員の皆様にお集まりいただいた懇親会はお開きとなりました。

各市町村等から多くのご恵贈品をいただきました。紙面の都合上、市町村名（順不同）のみをここに掲載させていただきます。心より御礼申し上げます。

大垣、高山、多治見、関、中津川、土岐、可児、山県、瑞穂、飛騨、下呂の各市、養老、神戸、輪之内、安八、揖斐川、池田、七宗、白川、笠松、垂井、大野の各村、JA全農岐阜、めぐみの農業協同組合 以上

（文責：伊藤健介）



谷汲から西国三十三所へ

マスコットキャラクターの枠を超えて「いのりちゃん」の願いと奇跡

岐阜県揖斐郡揖斐川町の谷汲参道商店街のマスコットキャラクターの「いのりちゃん」。日本で初めてキャラクターとして西国三十三所観音巡礼の満願を達成し、その功績により西国三十三所観音巡礼が日本遺産に登録される過程でも大きく貢献しました。さらに、西国三十三所礼所会からは特命先達や観光PR大使などに任命され、単なる「マスコットキャラクター」とは一線を画した「自ら積極的に活動を行うマスコットキャラクター」となりました。今回はこの「いのりちゃん」の魅力にせまります。

いのりちゃんの西国三十三所観音巡礼は、ただ単にお寺を巡るのではなく、出来る限りの礼儀や作法でお参りし、参拝者や地元の方、お寺の方々とのご縁を大切にしました。西国第三十一番札所長命寺の808段の階段も徒歩で登りました。船でしか渡れない琵琶湖に浮かぶ竹生島西国第三十番札所宝厳寺もフェリーに乗って行きました。西国巡礼難所としても知られる西国第四番札所の施福寺他、魅力あふれる各寺院をFacebookなどのSNSで発信しながら1年をかけて満願を達成しています。

いのりちゃんはたまたま門前で生まれた女の子、いのりちゃんの魅力は社会の



枠組みにとらわれることなく、自由に生きる姿にあります。誰もが自由でより豊かで楽しい人生を送ることをいのりちゃんは願っています。

西国三十三所巡りは、日本で最も古い巡礼路の一つであり、多くの参拝者が訪れます。すべての寺院を巡り祈りを捧げること、「満願」は、優しさ、心遣い、勤勉さといった心のあり方を身につけ、穏やかで充実した人生を送り、極楽往生を遂げることができる信じられています。

巡礼の順番は自由ですが、岐阜県揖斐郡揖斐川町の谷汲山華厳寺が満願の寺院とされ、最後に訪れるのがおすすめされています。参道にはお土産やグルメを提供する店舗が並び、谷汲山華厳寺へと続きます。この寺院は春には桜、秋には紅葉の名所として知られ、冬には雪景色を楽しむことができる、四季折々の美しさが魅力の一つです。

谷汲には、美肌の湯と称される「根尾川谷汲温泉」や、100種類以上のあられ



が楽しめる「谷汲あられの里」、世界中の昆虫の標本が700点展示してある「昆虫館」があります。廃線となった名古屋鉄道谷汲線の終点「谷汲駅」には、モ750形755号車、モ510形514号車が半動態保存されており、年に数回、小型車両移動機を使い駅構内を乗客を乗せて走る催しなどが開催されています。

(文責：松田 勝義)



【松田勝義氏プロフィール】

- 特定非営利活動法人にわてつ 理事長
- 特定非営利活動法人チャイルドラインぎふ 理事長

TOPIC

岐阜県の新しい史跡・名勝

昨年10月20日、史跡名勝天然記念物の指定等についての文化審議会が指定するよう文部科学相に答申した新史跡・名勝のうち、岐阜県関係は以下の2件であった。

【史跡】「中世飛騨国の中心・古川盆地の要衝に飛騨国司姉小路氏によって築かれた中世山城軍」

あねがこうじ 姉小路氏城跡（岐阜県飛騨市）

(以下は他県：古川城跡、小島城跡、野口城跡、向小島城跡、小鷹利城跡)

14世紀後葉に飛騨国司となり三家に分立した姉小路氏が、中世飛騨国の中心地である古川盆地の、各々の拠点に築いた中世山城群。後に同地へ進出する三木氏や金森氏の手による改修の跡も良好に残り、中世飛騨国の変遷過程を物語る山城群である。

【名勝】「溶岩流により形成された柱状節理の断崖に懸かる直瀑で、特に近代以降著名となった。」

しらみずのたき 白水滝（岐阜県大野郡白川村）

約2,200年前の新白山火山の溶岩流によって形成された柱状節理の断崖に懸かる高さ67.4mの直瀑で、乳白色に見えるその姿から「白水滝」と呼ばれ、特に近代以降、日光の華厳瀑、熊野的那智の大滝と並び称される名勝地として広く知られるようになった。

(文責：荒垣 さやこ)

すめキャンプ場



先号(17ページ)でお伝えしましたように、岐阜県はキャンプ場が大変に多い県であり、北海道、山梨に次ぐ全国三位 約120カ所のキャンプ場があります。

山紫水明の立地に恵まれた岐阜県だからこそその相応しいレジャー施設だと思います。訪れてくるキャンパーは主に近隣の名古屋市を中心とした中京圏からが約60%、関西圏からが30%、東京も含むその他のエリアからが約10%となっています。

昨今のキャンプブームの中で、キャンプのスタイル、楽しみ方も変化してきています。まずコロナ下で一気に増えたのが一人でキャンプをする「ソロキャンプ」です。また夏のレジャーとされていたキャンプが通年型となってきており、特に春、秋のキャンプを楽しむ方が増えてきました。焚き火が楽しめる涼しい季節であるということ、春は新緑を、秋には紅葉を楽しむことなど、より自然の四季の変化が味わえることが重要視されるようになってきました。そんな傾向と共にソロキャンプの方もファミリーキャンプの家族も、一年間に何度もキャンプをする方が増えてきています。ブームから入ってその楽しさに季節や場所を変えていろいろなキャンプ場を楽しむという方が多くなっており、夏は標高が高く涼しい飛騨の方面に行き、冬は雪の中のキャンプを楽しむ方も増えてきました。通年のレジャーとしてそのすべての需要に

こたえられるのが岐阜県の特徴で、岐阜県の自然を楽しむレジャーとしてこれからも人気が持続するものと思われます。

そんなたくさんある岐阜県のキャンプ場の中から、特徴のあるキャンプ場を選んでご紹介したいと思います。

人気が高く週末は満員状態となっていてますから、空き状況を確認してから予約をして下さい。

【岐阜県 キャンプ場】で検索して「キャンプ場ガイド岐阜県版」(camping.grip)から入っていただくと状況が解ります。



名前の通り奥飛騨の高山市上宝町にあります。奥飛騨温泉郷の中に立地し、キャンプ場内に温泉露天風呂がありキャンパーは無料で入れます。北アルプスから流れ出る高原川沿いに120ほどのサイトを誇る大型のオートキャンプ場です。関東からいらっしゃるには長野県松本から安房トンネルを越えてすぐとなります。お天気の良いときには、新穂高ロープウェイで北アルプスの絶景を眺めたり、乗鞍に登ったり、高山市内観光、世界遺産の白川郷にも足が延ばせますので、まさに飛騨を楽しむベースキャンプとして長期滞在者も多くあります。

また道の駅に隣接していますので買い物や食事にも便利です。



ワイルドなプールも併設しています。



広々した高原川沿いの松林にサイトが設置されています。向こうに聳える雪山は焼岳、この向こう側が上高地です。

岐阜県内のおす



魚のつかみ獲りプール。小さな子はこちらで

日本三大桜の一つである「根尾の薄墨桜」から15kmほどに位置し、根尾川を臨み山深いとても静かな落ち着いた立地です。オートキャンプサイトが約60、そして素敵なコテージが14棟あります。ロケーションも素敵ですが、設備がとてよくて人気抜群のキャンプ場です。ここではコテージもお勧めです。貸し別荘としての機能を備えており、食材だけを持っていけば良いように、

NEO キャンピングパーク

街場の近くにあるキャンプ場としてとても便利なおところに位置しています。各務原市の木曽川沿いにある施設で、木曽川国定公園の中に立地しています。岐阜県の最も南にありキャンプ場から見える向こう岸の景色は全て愛知県となりまして、なんと

伊木山フォレスト



黄昏のコテージ群。定員8名で14棟。ベランダでBBQができます。



安全確実に釣ることができる釣り堀も人気です。

冷蔵庫、電子レンジ、キッチン用品、食器、寝具、バストイレ、まですべて揃っています。川を見下ろすデッキでバーベキューもできますし、豪雪地帯ですが冬季も営業しており雪景色も楽しめます。夏はもちろん川遊びもできます。

またこのキャンプ場の特徴は3000席のバーベキュー施設が付いていることです。持ち込みではなくすべて整っている手ぶらで入れる施設です。結婚式なども行われるとてもお洒落なBBQ会場ですので、キャンプに行っても、ここでBBQをいただくのもお勧めです。

(岐阜県キャンプ場連絡協議会事務局長 洞口健児)



センターハウス近くの区画サイト。この広場からは国宝の犬山城を見ることができます。

国宝の犬山城が目の前に見えます。そしてキャンプ場の隣は各務原市民プールでキャンプ場から歩いて行くことができます。

ぎふ長良川鵜飼

Vol. 2

長良川の静かな流れの中で、1300年以上にわたり受け継がれてきた鵜飼の伝統。

夜の川面を照らすかがり火の下、海鵜と鵜匠が織りなす、優雅で神秘的な漁です。



1300年の伝統を守る 長良川鵜飼

長良川鵜飼は、1300年以上の豊かな歴史を有しています。702年（大宝2年）に正倉院の「御野国戸籍」に記された「鵜養部」の記述は、長良川（美濃）での鵜飼漁が1322年の歴史を持つことの証とされています。諸説ある中で、1159年（平治元年）に平治の乱で敗北した源頼朝が敗走中に長良川河畔で道に迷い、鵜使いの漁師の家に宿を求めたという話も伝わります。その後、鵜飼は鎌倉幕府の保護を受け、1539年（天文8年）に斎藤道三、1567年（永禄10年）秋には織田信長により井口が岐阜と命名され、鵜使いの漁師たちは「鵜匠」と名付けられました。1615年（慶長20年）、徳川家康が大坂夏の陣の凱旋途中に岐阜を訪れ、長良川鵜飼を鑑賞し、その美しさに感銘を受けて幕府直轄の保護を命じ、後に尾張藩の保護へと移り幕末まで続きました。明治時代に入り、保護が失われ衰退の一途をたどっていましたが、岐阜県が鵜飼の保護と鵜匠の地位の確立を目指し、宮内省に保護を求めた結果、1890年（明治23年）に宮内省主猟局が3箇所（御猟場と鵜匠を狩猟寮に所属させ、その地位を確立しました）。

現在、全国11カ所（2023年現在）の鵜飼開催地がありますが、岐阜市の6名と関市の小瀬鵜飼の3名、合わせて9名が宮内庁式部職鵜匠の地位を与えられています。毎年6月か

ら8月にかけて、御料鵜飼が開催され、鵜によって捕獲された鮎が宮家へ贈られるほか、三権の長や日本に駐在する各国の大使・公使にも御中元として贈られます。また、伊勢神宮や橿原神宮などへも奉納されます。このうち2回は、大使・公使が岐阜市を訪れ、鵜飼を観覧します。これらを本御料と呼び、それ以外のものを平御料と称します。御料鵜飼は、観光鵜飼の前に開催され、鵜匠たちは御料鵜飼だけでは生計を立てることができないため、自治体からの保護を受けながら、5月11日から10月15日まで開催されるぎふ長良川鵜飼（観光鵜飼）で鵜によって捕獲された鮎（歯型鮎）を販売して生計を立てています。

鵜匠家での成長と役割

鵜飼で活躍する鵜は海鵜で、川鵜に比べて約1.5倍の大きさであり、性格がおとなしいのが特徴です。鵜匠家では、約20羽の鵜が飼育されており、茨城県日立市十王町の伊師浜海岸にある鵜の岬では、日本で唯一の許可を受けた専門の捕獲人が野生の鵜を捕獲し、岐阜を含む全国の鵜飼開催地に希望した数だけの鵜を送っています。鵜匠家にやってくる新鳥（若い鵜は褐色で、成熟すると黒色になる）は、約3年間の訓練を経て鵜飼で活躍できるようになります。野生では平均寿命が7年程度ですが、鵜匠家で飼育されると約20年生きることもあり、これは年2回の健康診

断や予防接種が要因とされ大切にされています。

長良川鵜飼では、鵜匠一人が8〜12羽の鵜を操り漁を行います。鵜の首には、手縄を指2本分の隙間があるように結び付けられ、鵜舟の舳先に設置された篝火には赤松の幹で作った松割り木が用いられ、その火の明かりで川の中で眠っている鮎やその他の川魚を照らし出します。篝火に驚き魚が動くと、その鱗が篝火の光を反射し、鵜はその光を目指して潜り、魚を捕獲します。小さい魚は鵜の喉を通過し、食べエネルギー源となりますが、一定の大きさ以上の魚は首に留まり、首が膨れたことを鵜匠が確認し、鵜舟に引き上げさ

せて吐き出させます。鵜によって捕獲された鮎は、嘴で瞬時に締められるため、「菌型鮎」として東京や京都の料亭などで高値で取引されていますが、岐阜市内では一般には流通していません。鵜飼開催期間中、鵜の食事は鵜飼終了後の1日1回のみで、鵜飼終了後に捕獲した鮎以外の魚を食べます。鵜の首には、最大6〜7匹(700〜800g)の魚を蓄えられます。

鵜飼休漁期間中も鵜匠と鵜は共に生活を送っており、鵜匠はそれぞれの鵜を見分けることができます。また、鵜飼に使用する装束の準備や、かがり火に用いる赤松の割り木の準備、さらには足半と呼ばれる爪先部

分しかない草鞋を製作するなど、鵜飼のための準備をしています。足半は、濡れた鵜舟の中でも爪先立ちで漁をしても滑らないので、合格守りとして人気があります。

長良川鵜飼での漁とその魅力

夕刻から19時15分にかけて観覧船に乗船し、19時45分に開始される鵜飼を4発の花火で知らせ、上流から1艘の鵜舟に対して数艘の観覧船が並走しながら鵜飼(狩り下り)を観覧します。特に、長良川鵜飼独特の漁法である「総がらみ」は、6艘の船団が川幅いっぱいになり、1300年前から変わらない伝統的な漁を展開します。その魅力的な様子が訪れる人々に感動を与えています。総がらみで聞こえる、鵜匠が鵜にかける「ホーホー」という掛け声や、鵜舟船頭が櫂で船縁を叩く音、そしてかがり火がパチパチと燃える音は、日本の残したい音風景百選に選ばれています。

鵜飼閉幕日の次の日曜日には、鵜塚にて鵜供養が行われ、鵜匠や鵜飼関係者が出席し、鵜飼で活躍した鵜を供養します。僧侶の読経が唱えられるなか、鵜飼に関連した俳句が認められた短冊を長良川に流す短冊流しも行われ、鵜匠と鵜は家族同然に大切にされています。

2015年には、長良川の鵜飼漁技術が国の重要無形民俗文化財に認定されるという名誉を受けました。



これは、長良川鵜飼が単なる漁法ではなく、日本の文化的遺産としての価値を国が認めた証です。また、長良川鵜飼は「信長公のおもてなしが息づく戦国城下町・岐阜」という日本遺産の構成要件の一つとしても認定されています。さらに、「清流長良川の鮎」は世界農業遺産に認定され、その持続可能な漁法と生態系の保全が国際的にも評価されています。2021年には、「世界の持続可能な観光地100選」にも認定されています。

(文責：山下章)



【山下章氏プロフィール】

- 岐阜提灯職人
- 株式会社ジャパン・ランタン・インダストリー 代表取締役
- 美濃国戦国案内人
- 岐阜市まちなか案内人(観光ガイド)
- 金神社神輿奉賛会岐阜陸
- 岐阜市珍ちゃん人
- GIAHS長良川サポーター
- 鵜飼の船頭

閑話 休題

吉村 泰典

老化のメカニズムの解明

デューク大学の研究グループによれば、高齢マウスと若いマウスの体を3カ月つないで血液を循環させた後に切り離すと、高齢マウスの寿命の中央値が5%延びたとされています。メカニズムは不明ですが、若いマウスとの循環が細胞をより若々しい状態にするのに役立っています。2匹の生きた動物を手術的に結合させることをパラバイオーシスと言います。19世紀に確立されたこの研究手法は主にホルモン研究の発展に貢献してきましたが、1980年以降廃れた手法でした。最近、老化研究や再生医療の研究において新しい知見が得られるようになってきています。

老化を測る物差しの一つとして、エピゲノムが注目されています。分離後の高齢マウスでは、エピゲノムが示す年齢が血液と肝臓で最大約2割下がっていたとされています。若いマウスの血液には若さを取り戻す物質があったのかもしれない。一方、体をつないだ若いマウスの方では老化が進むという報告もあり、高齢マウスの体内に老化を促す物質がある可能性も否定できません。がんや糖尿病、心臓病など様々な病気のリスク要因になる老化を抑えられれば、病気の予防につながり健康寿命を延ばせるという期待があります。老化研究は1980～1990年代にも盛んでした。

細胞分裂の回数が寿命を決めるとみて、染色体の末端にあるテロメアが細胞分裂のたびに短くなることなどが注目されました。しかし、それだけでは寿命の謎を解くことはできませんでした。

2000年頃から老化の制御に関わる物質が報告されるなど、少しずつメカニズムが明らかにされるようになってきました。老化すると細胞は分裂しなくなり、置き換わりが進まなくなります。仮に分裂が永遠に続くといつかDNAのコピーミスが蓄積してがんになるため、分裂を止めるような進化の道を辿ったとも言われています。しかし、老化細胞はただ残るのではなく、細胞や臓器を傷つける炎症を促す物質を出します。こうした細胞の蓄積が寿命を左右している可能性があります。

なぜ人は老いるのかその仕組みを解明し、健康寿命を延ばそうとする研究が盛り上がりを見せています。直近の国勢調査をみても、高齢者の総数が増える中110歳以上の人数は増えておらず、寿命には壁があるようにも思えます。健康寿命と寿命ではメカニズムが違うのかもしれない。日本の65歳以上の比率は人口の約3割で、2040年には35%になると予想されています。国際的にも高齢化は大きな問題で、老化研究への期待は大きいものがあります。

田舎が嫌いだった私

東京外国語大学カンボジア語科 岐阜県学生会館 4年 黒内 咲衣



はやく都会に出たい、そんなことばかり考えていた高校時代だったと思う。映画館もなければ、可愛い服も売ってない。自力で遠くに遊びに行くこともできず、窮屈だった。

大学に進学が決まり、新天地での生活に胸を躍らせていた2020年3月、コロナ禍が始まった。引越しの荷物を送った数時間後に、大学から半年間のオンライン授業決定という通知を受けた。そして半年後、やっと上京した私を待ち受けていたのは都会のコロナ対策に縛られた生活だった。オンライン授業ばかりで友達も作りづらく、先生に質問もできない。授業で困ったことがあっても自力で解決するしかなかった。電車に乗れば、咳やくしゃみをしないよう神経を尖らせていた学生寮という集団生活をしている以上、風邪をひくことは一種の罪になるような感覚だった。

そんな生活に疲れた私は、何度も地元である岐阜県高山市に帰省した。帰るたびに改めて何もない街だと思った。コンビニも遠いし、可愛いスイーツも売ってない。そんなコロナ禍でも、おかえりと声をかけてくれた近所の



おじいちゃん、一家でコロナにかかり困っていた時、野菜を分けてくれた近所さん、地元の暖かさを感じた。昔はつまらないと思っていた古い町並みも、風情を感じるようになった。寺社を巡る遊歩道を通れば、桜や梅、夕日に紅葉、朝を知らせる鳥の声、高山を彩る自然の美しさに心を癒された。

もう一つ、私を支えてくれたのは、岐阜県学生会館の仲間の存在だった。コロナの制限が緩和されてからは、まるで家族のように20歳の誕生日を祝い合ったり、演劇と一緒に見に行ったり、朝まで共有スペースでお互い眠らないように声を掛け合って課題を終わらせたこともあった。地元で帰省できないときでも、岐阜県という共通の話で寂しさを紛らわせた。寮内ではみんなまだ方言が抜けず、「じゃさ」「じゃもんで」という言葉に安心した。こうして4年間でますます地元が好きになった私は、岐阜県で就職することを決めた。東京が嫌いになったわけではない。利便性は高いし、グルメも娯楽もたくさんある。アルバイトの時給も高いし、求人は多い。それ以上に、いつか地元に戻りたいという思いが大きくな



なってしまう。満員電車も、迷宮のような乗換駅にも、コンクリートジャングルにも慣れたけれど、帰るたびに心が安らぎ、自分の居場所はどこかと実感する。高校生の時の自分が知ったら驚くだろう。

コロナ禍の大学生活に後悔はないかと言われれば、もちろんある。行きたかった留学プログラムも開講されないまま卒業を迎えてしまった。ただ私はこの4年間を通して地元の魅力を再発見することができた。

拝啓、高校生の私へ。田舎も悪くないんやよ。

活動報告

フェローシップ委員会

フェローシップ委員会は、引き続き幅広い入会者の募集に努めています。最新の会員数は、令和6年1月末現在で個人会員426名（法人会員は26社）ですが、東京岐阜県人会の健全な発展のためには更なる会員の増強が最重要です。フェローシップ委員会は、在京岐阜サミット（在京同窓団体の集まり）を通じた在京同窓諸団体との連携強化のほか、東京岐阜県人会を紹介するパンフレットの活用により、入会勧誘活動を機動的に行っています。

会員には、年2回の会報「ギフネット」の配布をはじめ、各種イベント（年次総会後の懇親会、講演会、勉強会、ゴルフコンペ、クリスマス会等）へのご案内が送られます。各種イベントを通じて交流関係を拡げられると



いうことが大きな魅力の一つです。年次総会後の懇親会では岐阜県関連の国會議員・知事・市町村長その他著名人・旧

友との交流、岐阜県産の材料を使ったお料理や銘酒コーナーも毎年の楽しみになっています。2023年11月21日の年次総会及び懇親会が開催され、多くの出席者で賑わいました。

フェローシップ委員会は、2023年4月1日の砧公園（世田谷区砧公園・大蔵二丁目）での観桜会及び6月3日の東京臨海広域防災公園「そなエリア東京バーベキューガーデン」（東京都江東区有明3-8-35）でのバーベキュー大会に続き、有志にて、12月10日にサバイバルゲームフィールドSEALS（千葉市若葉区小倉町1336番地）でのサバイバルゲー

ム大会を開催し、岐阜県学

寮（文京区茗荷谷）及び岐

阜県学生会館（八王子市）か

らの学生16名のほか、社会

人と小学生2



名を含む合計37名が参加しました。

フェローシップ委員会は、今後のイベントとして、春の観桜会、初夏のバーベキュー大会、7月の花火鑑賞会を予定しています。引き続きこのようなイベントの企画・実施を通じて東京岐阜県人会の魅力を知ってもらい、会員増強につなげたいと考えております。

東京岐阜県人会を通じて、郷土の歴史や名所を再認識したり、郷土の物産を再発見したり、同郷の方々との親交を深めたりすることにより、会員の皆様の東京での日常生活に彩りを添えることができれば幸いです。ギフネットのバックナンバーは東京岐阜県人会のホームページapgifu.org/tokyo/?p=1393をご覧ください。

東京岐阜県人会の入会資格は、岐阜県出身者のみならず岐阜出身者の縁故であればよいということになっておりますので、ご縁のある方に気軽に入会の声を掛けていただきたいと思います。会員登録は、郵送、ファクシミリ、インターネットで行うことができます。詳細は、東京岐阜県人会のホームページ<https://apgifu.org/tokyo/index.php>をご覧ください。

（杉野 由和）

広報委員会

岐阜県人会の行事や事業の情報を広く提供し、会員同士の交流や新規会員の入会につなげられるよう活動しています。

昨年は会報誌「ギフネット」78号（春夏号）・79号（秋冬号）を出しました。今年は1月15日に未だZoom上ながら広報委員会を開催し、80号（春夏号）の掲載内容を審議しました。

DX委員会

DX委員会 2024

DX委員会はホームページの改善を中心に、人と人の出会いと繋がり強化を支援します。オンラインコミュニケーションが主流となる中、デジタルで「リアル」なコミュニケーションを促進して行きたいと考えています。皆さんからアイデアや企画を募集しています。ホームページの「お問い合わせ」から遠慮なくコンタクト下さい。



ホームページ
<https://apgifu.org>

レディース倶楽部

横浜ウォーターフロント散策と

北欧料理の会

2023年は関東大震災100年目の節目にあたり、県人会レディース倶楽部主催の恒例のまち歩きは、東京よりも震源域の相模湾に近く埋立地で罹災規模も大きいとされる地を、「横浜ウォーターフロント散策と北欧料理の会」と題して、幕末から今に至る、発展、震災や敗戦、復興そして再びの発展の歴史を訪ねました。

好天の師走3日、みなとみらい線・馬車道駅に集合したのは、新婚時代の思い出の地と微笑む吉村会長ご夫妻



をはじめ会員13名です。「横浜三塔」は馴染の方も多い筈。まずは阿部仁美委員長選りすぐりの高層ビュースポイントから、澄み渡る青空の港に浮かぶベイブリッジ、横浜港大橋国際客船ターミナル、そして横浜三塔と山下公園から山下町・本町地域の360度の眺望に歓声があがりました。次に、横浜三塔最初の「クイーンズタワー」の横浜税関を訪問。まずは集合写真、そして職員の方の解説と質疑応答でビデオ視聴しながら、税関業務を学ぶ。その後、職員の方のガイドで、これまでの税関での押収物の事例など、展示を見学。さながら大人の修学旅行です。

その後は、象の鼻パークのウォーターフロントの風を楽しみつつ、老舗

北欧料理レストラン「スカンディヤ」に到着。木彫りの彫刻のインテリアで森の温もり溢れる中、サーモンやローストビーフのコースランチに舌鼓と語らいが弾みます。今回は横浜三塔をモチーフにしたお菓子（お土産）もいただき、当日記入用のメッセージカードに各々その場で記入。お土産としても、家族や大切な方へのクリスマス・プレゼントとしても活用できました。

途中目にした残り二塔の内、「キングの塔」は、これも大震災後建設の帝冠様式の神奈川県庁の五重塔をモチーフにした塔屋です。空中で道路を跨ぐ渡り廊下の先の新館の設計は、現岐阜県羽島市竹鼻町の千代菊酒造13代当主の4男に生まれた坂倉準三。坂倉は、渡仏しル・コルビュジエに学び、岐阜市市民会館や旧羽島市庁舎、横浜シルクセンター、新宿西口広場、小田急新宿本店、渋谷の旧東急会館・旧東急文化会館も設計しています。

帽子のようなドーム屋根と赤レンガと白い花崗岩のボーター柄がお茶目な「ジャックの塔」は、三塔中一番古く、元々はこの地にあった「町会所（タウンホール）」が明治39年に焼失した後に、大正6（1917）年に竣工し、翌年に横浜港開港50周年記念として開館した建物です。大震災により大きな被害を受けましたが、昭和2年にドーム屋根以外は復旧工事が

進み、敗戦後、進駐軍の「メモリアルホール」として一時期接収後、昭和33（1958）年返還され、翌年に中区公会堂として「横浜市開港記念会館」となりました。現在の姿は、平成元年（1989）に創建当時の姿に復元されたものです。

レストラン「スカンディヤ」の向かいには、昭和6年竣工の旧横浜英国総領事館（横浜開港資料館旧館）があり、中庭にはペリー提督の「横浜上陸」図の「たまくすの木」が、大震災後の建て替えて約10m移し残されています。この楠木の先の横浜港には、メリケン波止場、現大橋国際客船ターミナルが据えられています。

ランチ後の散策に訪ねた通称「クジラの背中」のデッキでは、また視点の異なるウォーターフロントの絶景を楽しみながら、再度集合写真。そして、この師走の散策は、「また来年ねー」と、ここでクロージング。さらに延長戦のメンバーは、その後「ホテル・ニユーグランド」や山下公園のイルミネーションまで、丸一日楽しみました。黒船来航、そして開港以来長足の発展を遂げた横浜も関東大震災に見舞われ、その瓦礫の山で埋めたてたのが山下公園。横浜の光と影に、思いを馳せることもできた素晴らしい企画でした。

（玉腰 徹）

大巻伸嗣展が開催

1971年岐阜市出身の大巻伸嗣・東京藝術大学准教授は、大規模なインスタレーションによって国際的にも高く評価されている美術家です。

空間と時間を抽出して体感させるような壮大なインスタレーションはもとより、多くの人々と協働して場を変容させるアート・プロジェクトや舞台芸術にも、その優れた資質を発揮してきました。光と闇を重要な要素とする大巻の空間は、天体のリズムに従った始原的な生の感覚に満ちています。また、動植物や風景を象った装飾的なイメージは、古来人間の生活とともにあった豊かな文様の世界を想起させます。「存在

するとはいかなることか」を長年探求してきた大巻の創作には、自然の摂理、そして生と死という逃れようのないサイクルのなかで生きることへの、根源的な洞察が秘められているのです。



本展覧会（昨年11月1日～12月25日）は、国立新美術館の天井高8m、2000㎡にも及ぶ、柱のない大きな展示室で開催されました。演劇の舞台にたとえられるような、身体感覚を強く刺激する空間に足を踏み入れた観客は、観客であると同時に大巻が立ち上げた世界の一員としての演者のようでもあります。これまでのシリーズをかつてない規模に拡大した最新インスタレーションや、世界を揺るがせたパンデミックのさなかに始められた映像による新作は、観客の身体と強く響きあいます。まさに大巻が創りあげる、現代の総合芸術です。（文責…荒垣さやこ）

高山市・日下部民芸館で

メディアアーティスト落合陽一による「ヌル即是計算機自然－符号化された永遠、オブジェクト指向本願」展が開催 （昨年9月17日～11月5日）



高山市の日下部民芸館は、明治12（1879）年築の近代町屋建築の優品で、1966年に国指定重要文化財となり、現在は日下部民芸館としてミュージアム活動をしている。ここで昨秋開かれたのが、筑波大准教授でピクシードラストテクノロジー（株）代表取締役でもあるメディアアーティストの落合陽一による、計算機自然（デジタルネイチャー）の芸術的哲学的探索を体験する展覧会だ。

2021年より始まった、飛騨の歴史と「デジタルネイチャー」の思想を融合するというプロジェクトは、飛騨の地で育まれてきた歴史や自然、伝承された数多くの物語を考察することによって浮かび上がったモチーフを、落合が探求している「デジタルネイチャー」の思想と掛け合わせ、同館の空間全体を用いてインスタレーション表現するものとなった。

一昨年開催の「偏在する身体 交錯する時空間」展に続く本展では、プログラミングの設計における「オブジェクト指向」の考え方や、現代思想の新たな哲学理論で用いられる「オブジェクト指向存在論」を中心に据え、「デジタルネイチャー」の世界に対する落合の芸術的計算機科学的哲学的探究を体験するものだ。

会場では、日下部民芸館を巨大な曼荼羅に見立て、空間に浮遊する真言密教的モチーフと過去の肉声を組み合わせたインスタレーションを展開。オブジェクト指向という点でデジタルネイチャーと共通する真言的曼荼羅世界の神羅万象を表現するほか、落合が本展のために新たに手掛けた「オブジェクト指向菩薩」が曼荼羅の中の大日如来に對をなす存在として、自然と生命の全体を理解する新たな視点を提示した。

NHK教育テレビの日曜美術館でも紹介され、話題になった。（文責…荒垣さやこ）

今年は岐阜が熱い！

全国規模のイベントが夏と秋に！！

清流の国ぎふ総文2024、「清流の国ぎふ」文化祭2024が開催



第48回全国高等学校総合文化祭

清流の国ぎふ総文2024

7月31日(水)～8月5日(月)



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭

「清流の国ぎふ」文化祭2024

10月14日(月・祝)～11月24日(日)

全国の高校生による芸術文化活動の祭典である第48回全国高校総合文化祭(愛称:清流の国ぎふ総文2024)が、7月31日～8月5日に開かれます。国内最大規模の“文化部のインターハイ”とも言われ、各県代表の高校生約2万人が集います。岐阜県での開催は1984年度以降40年ぶりです。大会に向けて、県内の高校から公募で選ばれた23校41名による生徒実行委員会が設置され、総合開会式やパレード、広報イベントなど五つの部門に分かれて活動しています。岐阜県庁舎には文化祭とともに懸垂幕が掲げられ、大会の機運が高まっています。(公式HP: <https://gifu-bunkasai2024.pref.gifu.lg.jp/soubunsai/>)

各種の文化活動を全国規模で発表、共演、交流をする祭典、第39回国民文化祭と第24回全国障害者芸術・文化祭(愛称:「清流の国ぎふ」文化祭2024)が、10月14日～11月24日に開催されます。14日に岐阜メモリアルセンターの「で愛ドーム」で開会式が行われた後は、各会場で多彩なイベントが行われます。(詳細は公式HP: <https://gifu-bunkasai2024.pref.gifu.lg.jp/koku-shou-bunsai/>)

また、県ゆかりの俳優 竹下景子さん、紺野美沙子さん、伊藤英明さん(岐阜市出身)、義足ダンサーの大前光市さん(下呂市出身)らが応援大使を務め、文化祭を盛り上げます。



同窓会に行こう!!

長らくご無沙汰していた故郷へのきずなをぜひ再構築してみませんか。

次号は10月上旬発行となります。皆様の投稿をお待ちしております。(投稿先: gifukenjin-tky@poppy.ocn.ne.jp)

久々に母校の同窓会で恩師や友人たちと旧交を温めてみてはいかがでしょうか？同窓会から発展した趣味の会や文化イベントへの参加、母校を応援するスポーツ観戦などの機会もこれから増えていきそうです。これらをきっかけとして、

東京有斐会

岐阜県立斐太高校

『白線流しのつどい～学年連絡会(講演会)～』のご案内

【日時】2024年6月15日(土) 16:00～19:30

【次第】16:00～17:15

斐太高校卒業生による講演会

講師/村尾信尚氏(高26回 S.49年卒)

関西学院大学教授

演題/卒業50年を振り返って

17:30～19:30

懇親会(ケータリングサービスの着席ビュッフェ)

【会場】國學院大学 院友会館

(渋谷区東4-12-8 TEL 03-3400-7781)

<http://www.kokugakuin.or.jp/annai.html>

JR・地下鉄渋谷駅または恵比寿駅から

徒歩で約15分

【会費】7,000円 程度(未定)

(東京有斐会会長 橋戸 弘)

東京飛騨会

令和六年東京飛騨会初詣で、新春互礼会

令和6年1月20日、東京飛騨会恒例の明治神宮初詣でと新春互礼会が開催されました。

社務所に集まったのは、来賓3名と細江孝雄会長以下総勢45名。高山市・飛騨市・下呂市の市長は何れも代理のご出席で、岐阜県東京事務所からは片桐伸一所長、東京岐阜県人会は杉野由和副会長、理事4名にもご来場いただきました。令和2年の正月、未知の新型コロナに怯えながらの開催から4年振りの通常開催に、それぞれに再び対面を果たされた皆様の笑顔の輝きが、集いの力の全てを物語っておりました。

しかし、元旦には能登半島地震に襲われ、来賓からは山深き飛騨にも爪痕は及び、各市も被災地支援に初動を開始しているとの報告も聴き、天地長久の祈りを新たに致しました。

(東京飛騨会事務局 玉腰 徹)



東京岐阜県人会の発展を

お祈りいたします。

東京岐阜県人会 名誉会長

松田 隆利

〒一六六—〇〇一三
杉並区堀ノ内二丁目一—一〇五
TEL・FAX〇三(三三二五)七八三一

東京岐阜県人会 副会長

一般社団法人運転従事者脳MRI健診支援機構 代表理事

水町 重範

〒一五一—〇〇五一
東京都渋谷区千駄ヶ谷一—一〇六
TEL〇三(六二七四)八五五五

株式会社UACJ

代表取締役
社長執行役員

石原 美幸

〒一〇〇—〇〇〇四
東京都千代田区大手町一—七一
東京サンケイビル
TEL〇三(六二〇二)二六〇〇

在京(首都圏)岐阜高校同窓会

会 長 尾 関 良 平

東京岐阜県人会 会長

一般社団法人吉村やすのり生命の環境研究所 代表理事

慶應義塾大学
名誉教授

吉村 泰典

〒一〇二—〇〇九三
東京都千代田区平河町一—五一
VORT平河町九〇二
TEL〇三(三五一二)五六七八
FAX〇三(三五一二)五六七九

東京岐阜県人会 幹事長
公認会計士・税理士

八木 茂樹

下呂市出身

明治神宮 権宮司
明治記念館 館長

江馬 潤一郎

明治記念館
〒一〇七—八五〇七
東京都港区元赤坂二—二—三三
TEL〇三(三三七四)七七九〇

東京岐阜県人会 総務企画委員長
多治見北高同窓会 東京支部 理事

小原 久

御嵩町伏見出身

東京岐阜県人会 副会長

水町メディアカルグループ 代表・総院長
内科認定医

水町 重範

水町クリニック
水町保険診療所
水町エム・アールクリニック 千駄ヶ谷
〒一六三—〇七〇三
東京都新宿区西新宿一—七—「新宿第一生命ビルディング」
TEL〇三(三三三四)二一八一(代)

東京岐阜県人会 名誉顧問
松久グループ

代 表 神谷 一雄

〒一〇五—〇〇二二
東京都港区東新橋二—八—一
パライツオアステック九階
TEL〇三(三三三三)四七九三
FAX〇三(三三三三)〇一三五

貝印グループ

代表取締役
会 長

遠藤 宏治

〒一〇一—八五八六
東京都千代田区岩本町三—九—五
K&Aビル
TEL〇三(三三六二)六四一一
FAX〇三(三三六六)〇二〇五

一般社団法人グローバルメディアネットワーク

理 事 長 岸田 哲哉

【本部事務局】〒五〇二—〇〇〇三
岐阜市三田洞東一丁目二十番三号
TEL〇五八(三三七)六三三三
FAX〇五八(三三七)七五〇九
【東京支局】東京都世田谷区深沢六—一八—〇三〇二
<https://gifu42.net>

日本NCRコマース株式会社

代表取締役
社長

小原 琢哉

〒一〇四一〇〇三三
東京都中央区新川一丁目二二
TEL 〇三(六七五九)六〇〇〇

学校法人清水学園理事長

清水とみ

〒一五〇一〇〇〇二
東京都渋谷区渋谷一丁目八
TEL 〇三(三四〇〇)〇二八六
FAX 〇三(三四〇〇)〇二六六

美濃紙業株式会社

顧問
近藤 征雄

〒一〇〇〇〇二五
東京都足立区千住東二丁目三三
TEL 〇三(三八八二)四九二二
FAX 〇三(三八八八)六四三九

総合解体業
株式会社 八起グループ

代表取締役
佐々木 宏幸

〒一三四一〇〇八三
東京都江戸川区中葛西一丁目一七
TEL・FAX 〇三(六八〇八)八三七六
携帯電話 〇八〇(五〇五五)六四一七

聖マリアンナ医科大学 呼吸器外科

主任教授
佐治 久

〒二一六八五一
神奈川県川崎市宮前区菅生二丁目一
TEL 〇四四(九七七)八一二一
FAX 〇四四(九七六)五七九二

弁護士・弁理士(シテューワ法律事務所)
金沢工業大学大学院
イノベーションマネジメント研究科教授

棚橋 祐治

〒一〇〇〇〇五
東京都千代田区丸の内一丁目一七
サビタタワー 石油資源開発(株)秘書室
TEL 〇三(六二六八)七〇一〇

株式会社 大和証券グループ本社

取締役会長
日比野 隆司

瑞浪高校首都圏同窓会 幹事長

宮田 栄子

株式会社 岐阜フットボールクラブ

取締役会長
宮田 博之

竹文化振興協会

理事・岐阜支部長
亀山 光昭

〒153-0064 東京都目黒区下目黒4-1-12
TEL・FAX 03-3793-6716

平成 HEISEI PROJECT

映画・コンテンツ製作プロデューサー

代表取締役・CEO・Producer
益田 祐美子
MASUDA YUMIKO

<http://heisei.pro> E-mail yuri112@01.itscom.net

株式会社平成プロジェクト

本社 〒102-0092 東京都千代田区幸町3-19 清水ビル2階
TEL: 03-3261-3970 FAX: 03-3261-3971
飛騨高山夢工房 〒506-0818 岐阜県高山市江名子町4377



二〇二四年公演・公開予定作品
俳優座公演「あねさきの風」高松演出 三月
劇場「湖の女たち」大森立嗣監督 五月
国際共同製作「草原の英雄」アイザック監督
劇場「おれが眠るまで」東おかり監督
劇場「君の忘れ方」作道雄監督 二五年正月

〈順不同〉

編集後記

元旦の能登の地震は衝撃的だった。飛騨地方で地元の人に聞くと口々に「生まれて初めて」の震度だったと話す。避難者を岐阜県内各地でも迎えているが、地理的な近さもあり県北部では病院や介護施設等にかかりの人数が受け入れられている。東日本大震災が東北の過疎化を加速的に進めたといわれるが、能登地方も同様な危機に直面している。それは岐阜県でも他人事ではない問題だ。

さて、世の中はほぼ完全にポスト・コロナに入ったが、当会も旧来通りの形で開催された総会・懇親会をはじめ、フェロシップ委員会やレディース倶楽部の催しもコロナ以前のように多くの方が参加して盛会のうちに終わった。今年もさまざまな催しで新たなつながりの輪を広げていきたいもの。

ところで最近、インドが鳥をドローン対策の兵器として積極的に採用するという米誌報道を見た。いわば鳥部隊である。今号で紹介された長良川の鵜飼とはまさに対極にあるような話。千年余の伝統を誇る鵜飼は岐阜の風物詩であるだけでなく、能の題材にもなっており、多くの作家の詩心を触発してきた。大切に残していきたいものである。

広報委員長 荒垣さやこ

大好きなこの街の
未来をつくろう。



◀CMギャラリーは
こちら

人と、地域と、未来をむすぶ



十六銀行



第48回全国高等学校総合文化祭

清流の国ぎふ総文2024

7月31日(水)～8月5日(月)

全国の高校生による「文化部のインターハイ」
です。

総合開会式やパレードからなる開会行事から
スタートし、22部門を県内15市町で開催します。

今年
岐阜
県で
開催
！



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭

「清流の国ぎふ」文化祭2024

10月14日(月・祝)～11月24日(日)

誰もが多彩な文化芸術に親しむことができる
祭典です。

期間中は県内全42市町村で300を超える文化
イベントを開催します。

楽しい情報更新中！「フォロー」お待ちしております！



ウェブサイト



X(旧Twitter)



Instagram



YouTube